

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局 教育委員会事務局 課 教育総合センター 事業番号 **2111**

| | |
|--------------------|---|
| 事業概要 (PLAN) | 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し |
| 方針 | 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 |
| 施策の方向 | 1 教職員等の意識と指導力の向上 |
| 事業番号/事業名 | 2111 教職員研修の充実 |
| 事業内容 | 学校教育において、男女共生教育を推進するため、教職員(幼・小・中・養・高)に対する研修の充実を図る。(管理職研修、人権教育研修講座等) |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | <ul style="list-style-type: none"> ・1年目教員を対象とした研修を実施し、教職員の意識改革を行う。 ・学校現場では、男女混合名簿が実施されていることをふまえ、それらも関連させて研修を実施していく。 ・管理職研修におけるハラスメント対応研修は、26年度においても実施する。 ・差別問題が多様化してきているので、多岐にわたる人権研修を今後の展開としていく。 |
| 参考 | 関連する計画 教育総合センター研修事業 (教職員研修事業) |

| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------|--------------------------|------|------|------|------|----|------|----|-------|-------------------------------------|--------|--------------------------|------|----|--|--|--|
| 評価2 (CHECK) 数値目標 | 目標項目 教職員研修の実施回数 <table border="1"> <tr> <th>目標・実績</th> <th>目標値</th> <th>年1回</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>3回</th> <th>25年度</th> <th>3回</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 目標・実績 | 目標値 | 年1回 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 3回 | 25年度 | 3回 | 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 年1回 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 3回 | 25年度 | 3回 | | | | | | | | | | | |
| 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | | | | | | | | | | | | |

| 実施内容 (DO) | <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>講師名</th> <th>研修名・対象者</th> <th>講演テーマ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月27日</td> <td>189名</td> <td>尼崎市家庭児童相談室 春名孝志 浅井鈴子</td> <td>人権教育研修講座 全教職員</td> <td>これからの人権教育をめざすもの (多文化共生研修)</td> </tr> <tr> <td>8月28日</td> <td>149名</td> <td>神戸地方支務局尼崎市局総務課長 横山 武美</td> <td>人権教育研修講座 全教職員</td> <td>これからの人権教育をめざすもの (ハラスメント対応研修)</td> </tr> <tr> <td>8月29日</td> <td>203名</td> <td>人権エンターティナー 登天 ホール</td> <td>人権教育研修講座 全教職員</td> <td>これからの人権教育をめざすもの (男女協同参画の視点で)</td> </tr> <tr> <td>6月26日</td> <td>56名</td> <td>関西いのちの電話 事務局長 八尾 和彦</td> <td>校・園長研修 校長・園長対象</td> <td>「1本の電話から・・・」 (多文化共生研修)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">対象は全教職員</p> | 実施日 | 参加人数 | 講師名 | 研修名・対象者 | 講演テーマ等 | 8月27日 | 189名 | 尼崎市家庭児童相談室 春名孝志 浅井鈴子 | 人権教育研修講座 全教職員 | これからの人権教育をめざすもの (多文化共生研修) | 8月28日 | 149名 | 神戸地方支務局尼崎市局総務課長 横山 武美 | 人権教育研修講座 全教職員 | これからの人権教育をめざすもの (ハラスメント対応研修) | 8月29日 | 203名 | 人権エンターティナー 登天 ホール | 人権教育研修講座 全教職員 | これからの人権教育をめざすもの (男女協同参画の視点で) | 6月26日 | 56名 | 関西いのちの電話 事務局長 八尾 和彦 | 校・園長研修 校長・園長対象 | 「1本の電話から・・・」 (多文化共生研修) |
|------------------|---|---------------------------|-------------------|---------------------------------|---------|--------|-------|------|-------------------------|------------------|------------------------------|-------|------|--------------------------|------------------|---------------------------------|-------|------|----------------------|------------------|---------------------------------|-------|-----|---------------------------|-------------------|---------------------------|
| 実施日 | 参加人数 | 講師名 | 研修名・対象者 | 講演テーマ等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月27日 | 189名 | 尼崎市家庭児童相談室 春名孝志 浅井鈴子 | 人権教育研修講座 全教職員 | これからの人権教育をめざすもの (多文化共生研修) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月28日 | 149名 | 神戸地方支務局尼崎市局総務課長 横山 武美 | 人権教育研修講座 全教職員 | これからの人権教育をめざすもの (ハラスメント対応研修) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8月29日 | 203名 | 人権エンターティナー 登天 ホール | 人権教育研修講座 全教職員 | これからの人権教育をめざすもの (男女協同参画の視点で) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月26日 | 56名 | 関西いのちの電話 事務局長 八尾 和彦 | 校・園長研修 校長・園長対象 | 「1本の電話から・・・」 (多文化共生研修) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | <p>男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について</p> |
|-------------------------------------|---|

| | |
|----------------|--|
| 前年 25年度 | 教育総合センター 人権教育研修講座 (1) 日時・「テーマ」・参加人数 平成25年8月27日・「これからめざす人権教育」・195名 平成25年8月28日・「いのちの教育」・210名 平成25年8月29日・「人権教育を通して推進する人間形成」・202名 (2) 講師 佛教大学 教職員支援センター講師 西田益久氏 (3) 対象 全教員 |
|----------------|--|

| | |
|------------------------|---|
| 今後の方向性 (ACTION) | <ul style="list-style-type: none"> ・1年目教員を対象とした研修を実施し、教職員の意識改革と資質向上を行う。 ・学校現場では、男女混合名簿が実施されていることをふまえ、それらも関連させて研修をさらに実施していく。 ・管理職研修におけるハラスメント対応研修は、引き続き27年度においても実施する。 ・差別問題が多様化してきているので、多岐にわたる人権研修を今後の展開としていく。 |
|------------------------|---|

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

| | | | | | |
|--|--|--------|--------|--------------------------|------|
| 局 | こども青少年局 | 課 | 保育指導担当 | 事業番号 | 2112 |
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | |
| 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | |
| | 評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 | | | | |
| 実績の評価 | 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 |
| | <input type="checkbox"/> | 達成している | | <input type="checkbox"/> | 下回った |
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | |
| 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | | | |
| 今後の方向性 (ACTION) | | | | | |
| 継続的に研修を実施していく。 | | | | | |

| | |
|--------------------|---|
| 事業概要 (PLAN) | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し |
| 方針 | 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 |
| 施策の方向 | 1 教職員等の意識と指導力の向上 |
| 事業番号/事業名 | 2112 保育士研修の実施 |
| 事業内容 | 保育士の専門性向上のひとつとして人権・男女共同参画に関連する研修を実施する。 |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | 継続的に研修を実施していく。 |
| 参考 | 関連する計画 |
| 実施内容 (DO) | |
| 26年度 | (公立) 専門研修 - 36回 : 1,143人 保育所別職場研修 - 53回 : 460人(保育所数25所) 職場研修のうち、人権・男女共同参画にかかる研修 派遣研修 - 8回 : 26人 (私立) 私立保育所に対しては、公立の主催する専門研修及び県や団体等が実施する研修等の情報を提供した。 |
| 前年 | (公立) 専門研修 - 26回 : 1,180人 保育所別職場研修 - 48回 : 395人(保育所数25所) 職場研修のうち、人権・男女共同参画にかかる研修 派遣研修 - 6回 : 18人 (私立) 私立保育所に対しては、公立の主催する専門研修及び県や団体等が実施する研修等の情報を提供した。 別紙あり |

職場研修内容【主なもの】
 ・人権意識をもった関わり方
 ・保護者の人格・価値観を尊重する子育て支援
 ・人権の心を大切にする保育
 ・障害児の人権を大切にする仲間づくり

職場研修内容【主なもの】
 ・人権を大切にする保育
 ・職員のよりよい関係のために
 ・保護者の人権について
 ・要保護児童について
 ・CAPワークショップ

こども青少年局 保育指導担当
【 2112 保育士研修の実施】 実施内容 別紙

保育所別職場研修実施内容（公立保育所における人権研修）

* 各保育所で講師招聘による研修や保育所職員による研修を職場別研修として行っており、その中でも人権・男女共同参画にかかる研修の回数を挙げている。

* 保育所職場別研修では、人権研修を必修研修としており研修計画のなかに入れていますが、年度ごとに主に学ぶテーマが変わるため、カテゴリーの割合も変化しており、実施回数が増減がある。

* 平成 24 年度の実施回数より平成 25 年度の回数が減少している理由としては、平成 25 年 4 月に尼崎市に保育所の最低基準を定める条例が施行され、研修の計画的な実施や事故の発生防止の指針を定めることが求められたため、保育所職場別研修のなかでも条例の内容や事故発生防止指針についての研修等を入れたことによるものである。

【回数】

| 年度 | 保育所数 | 回数 | 人数 |
|----|------|------|-------|
| 24 | 26 所 | 59 回 | 441 人 |
| 25 | 25 所 | 48 回 | 395 人 |

【内容（主なもの）】

平成 24 年度

- ・ 平和についての取り組み（伝達研修・討議）
- ・ 虐待について（伝達研修及び討議）
- ・ 子どもの人権を大切にしている保育について（討議）
- ・ 人権を大切にしたい保護者対応について（討議）
- ・ DV について（講義）

平成 25 年度

- ・ 人権を大切にしている保育（グループワーク）
- ・ 職員のみよりよい関係作りのために（グループワーク）
- ・ 保護者の人権について（討議）
- ・ 要保護児童について（伝達研修）
- ・ CAP ワークショップ（実技）

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|------|--|--|--------|-------------------------------------|------|------|-------|------|-------|
| 局 | 教育委員会事務局 | 課 | 学校教育課 | 事業番号 | 2121 | | | | | | |
| 事業概要 (PLAN) | | | 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | | 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | | | | |
| 方針 | 1 学校等における男女共同参画の推進 | 重点方針 | | | | | | | | | |
| 施策の方向 | 2 学校教育における慣行の是正 | | | | | | | | | | |
| 事業番号/事業名 | 2121 男女共生教育の推進 | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | ・全教育活動の中で、男女の固定的な役割分担を前提とせず、人権の尊重・男女の協力・相互理解等の指導の充実に努めるとともに、男女が性別にかかわらず、互いにその個性を尊重しつつ、等しく責任を分かち合い、それぞれの能力を十分に発揮することができるような教育を推進する。・男女混合名簿を完全実施する。 | | | | | | | | | | |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | 小学校にも拡充されたところの教育推進事業において、男女共生の視点に立った講演を他校にも紹介するなど、男女の相互理解が深まるようにする。 | | 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | |
| 参考 | 関連する計画 | | 目標項目 教職員が学習・研修を年1回以上実施した校数の割合 男女共生教育を推進するための授業を全クラスで年間に実施した校数の割合 | | | | | | | | |
| | | | 目標・実績 | 目標値 | 100% | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 17.8% | 25年度 | 14.5% |
| | | | 実績の評価 | <input type="checkbox"/> | 達成している | <input checked="" type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | |
| 実施内容 (DO) | | | 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | | | | |
| 26年度 | 県教委作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」を道徳等で活用し、男女共生教育の推進に努めた。道徳の授業や特別活動等での活用については、例えば、別紙資料のような活用がある。 「ほほえみ」の活用状況:1・2年70.4%、3・4年62.8%、5・6年57.9%(市内42小学校平均) 「きらめき」の活用状況:66.7%(市内19中学校平均) | | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | | | | | | |
| 前年25年度 | ・県教委作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」を道徳等で活用し、男女共生教育の推進に努めた。 「ほほえみ」の活用状況:1・2年69.7%、3・4年60.4%、5・6年57.5%(市内43小学校平均) 「きらめき」の活用状況:63.1%(市内19中学校平均) | | 今後の方向性 (ACTION) 全小・中学校で実施している「こころの教育推進事業」において、男女共生の視点に立った講演を他校にも紹介するなど、男女の相互理解が深まるようにする。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|---|----|---------|-----|-----|----|----|----|----|-------|
| No. | ① | 分類 | 3-(1)-イ | 資料名 | お弁当 | 学年 | 2年 | 領域 | 道徳 | 4-(3) |
|-----|---|----|---------|-----|-----|----|----|----|----|-------|

1 ねらい

- 男女共同参画社会の実現に向けて、性別による固定的役割分担意識を見直し、家庭や学校、地域や職場において、個性や能力を発揮し協力し合おうとする意識を高める。

2 趣旨

- 性別により家族の役割や仕事が制限されることなく、男女が共にその人権を尊重するとともに、差別を解消しようとする意欲を養う。
- 男女共同参画の視点に立ち、性別によらず誰もが自分の個性や能力を発揮できることが、社会全体を豊かにしていくということを認識させる。

3 配慮事項

- 生徒の家庭状況を把握したうえで、家族の形態は多様であってよいことを伝える。

4 展開例

| 学 習 内 容 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|--|---|
| <p>1 弁当にまつわる話を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作るのとは誰か。 ・ 弁当箱は誰が洗うのか。 など | <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いやすい雰囲気を作る。 ・ 自分の家庭生活を振り返り、クラスの人の話を聞き、家庭によって違うことを知る。 |
| <p>2 資料を読み、登場人物の気持ちを話し合う。</p> <p>「咲希」は、どうして、優人のお母さんか弁当作りをしていて、他の家でも同じだと思っただ。</p> <p>お父さんは、どうして、「係長にならなかつたらよかった。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 晩ごはんが遅くなるのが、嫌だった。 ・ 「女の人は仕事よりも家庭を優先にすべきだ。」という考えをもっていた。 ・ 母親以外の誰かが晩ごはんを作ってもよいという考えがなかった。 ・ 係長としてのやりがいや気がつかなかった。 ・ 遅くまで働く母親の健康を心配した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 母親が帰ってくるまで、誰も何もせずじまっていることの不合理性に気づかせる。 ・ 「女性には仕事よりも家庭を優先するの活躍を妨げていることを認識させる。」のだと思っ ・ 母親自身も、家事は女性がするものと思っ ・ ているところがあることにも気づかせる。 ・ 長時間労働の問題にも触れ、管理職であることもワークライフバランスが必要であることに触れる。 |
| <p>3 「咲希」の気持ちの変化を考える。</p> <p>「咲希」は、どうして「できることをしてしまおうよ。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの家の話を聞いて、お母さんだけが家事をするのをおかしいことに気づいた。 ・ 保育園の先生の話を聞いて、お母さんが仕事と育児の両立にがんばっていたことに気づいた。 ・ 目標をもって仕事をするお母さんを応援したいと思った。 ・ 女性が活躍できることが社会全体にとつて幸せなことだと考えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 咲希が友だちや保育園の先生との会話の中で不合理に気づき、自分の家庭を変えようとしていることに気づかせる。 ・ 男女共同参画社会の実現のためには、家事や育児、介護、仕事について協力し合うことの大切さを認識させる。 ・ 日本では、まだ女性の管理職が少ないが、政府は2020年には30%を目標にしていることを知らせる。(第3次男女共同参画基本計画) |
| <p>4 本時のまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な考え方を尊重することが大切であることを押さえる。 |

5 参考

- 第3次男女共同参画基本計画（2010年）については、活用の手引P 54を参考とすることができる。

お弁当

キーンコンカーン。四時間目の終了のチャイムが鳴った。

「やったあ。お弁当の時間だ。」

咲希や優人の中学校では、昼食にはお弁当を持っていくことになっ

ている。

「いただきます。」

と優人が食べようとすると、隣の席の
咲希が優人のお弁当をのぞき込んで、

「わあ、おいしそうなお弁当。優人さ

んのお母さんで、お料理上手なのね。」

と言った。

「あ、この弁当？ これは僕とお父さんとで作ったんだよ。」

と優人が言った。

「え？ お母さんは料理をしないの？」

と咲希が聞いた。

「するよ。僕のお母さんは病院に勤めていて、夜中に働くこともある

から、弁当作りは、僕とお父さんがするんだ。」

と優人が答えた。すると、咲希は感心して言った。

「へえ、優人さんもお父さんもお料理が上手なんだね。」

「最初は、失敗もしていたんだ。でも、料理は経験を積みば上手にできるよ。お母さんも疲れて帰ってくることもあるから、僕

は自分にできることをするようにしているよ。」



「私もお母さんと二人暮らしたから、弁当は自分で作るよ。まだ、あ

まり上手じゃないけれどね。」

と親友の明日香も笑って言った。

ふと、咲希は昨夜の自分の家族の光景を思い出していた。

「ただいま。部活で良かったです。あれ、お母さんは？」

と咲希はテレビを見ている父と兄に声をかけた。

「お帰り。お母さんはまだ会社だよ。」

と父が言った。なんだか怒っているように見える。最近、お父さん、
いらいらしているなあと咲希は思った。

「お母さん、係長になつてから、毎晩遅いなあ。」

と兄が言った。

しばらくして、母があわてて帰ってきた。

「みんな、ごめんね。遅くなっちゃった。」

「もう、おなかぺこぺこだよ。」

と兄が言った。

「こんなに毎日遅くなるんだったら、係長なんかにならなければよか

つたな。」

と父がテレビを見ながら言った。

「咲希ちゃん、晩ごはんを作るの手伝ってちょうだい。」

と洗濯物を取り入れながら、母が明るく言った。

「えっ、私だけ？ いつも私ばかり。」

と咲希はしぶしぶソファーから立ち上がった。咲希が兄と父の方に目
をやる時、二人はテレビの画面を見るときもなしに眺めていた。

「咲希さん、咲希さん。」

優人の呼びかけに、咲希ははっと我に返った。

「あ、何？」

「咲希さんのお弁当は誰が作っているの。」

と優人がたずねた。

「お母さんよ。今まで、お母さんが作るのが当

たり前だと思っていたけれど…」

と咲希は答えた後、物思いにふけていた。

その日の帰り、咲希は町でぼったりと保育園の時の先生に出会った。

「まあ、ずいぶん大きくなりましたね。お母さんもお元氣ですか？」

あなたのお母さん、毎朝一番早くあなたを保育園に預けに来て、

お迎えもいつも時間ぎりぎりです、息を切らせながら走って来られてま

したよ。」

「ご迷惑をかけていたんですね。」

「そんなことなかったのよ。お母さんは、『保育園の先生方に申し訳

ないし、ちよつとでも早く迎えに来てやりたいので』といつも明るく

言っておられましたよ。あなたがこんなに立派になって、お母さんも

喜んでおられるでしょうね。」

その日の晩、咲希が帰宅してリビングの戸を開けると、父と兄がテ

レビを見ていた。

「だいま。お母さん、まだ？」



「お母さんは今日も遅いって。」

と兄が言った。

「お兄ちゃん、私たち二人で晩ごはんを作ってみようか。」

と咲希が、思い切って言った。

「えっ、なんで。僕には料理なんか無理無理。」

と兄は嫌がった。

「同じクラスの優人さんは、お父さんとお弁当を作っているよ。友だ

ちの明日香さんも自分でお弁当を作っているんだって。」

「へえ、中学生なのに偉いね。でも、僕たちの家は遅うよ。」

と兄が言った。咲希は言葉を続けた。

「他の家では家族みんなで助け合っているんだよ。私たちの家は昔か

らお母さんが一人で家事をしてきたよね。お母さんは仕事で疲れてい

ても、家事をほとんど一人でやってきたのよ。私たちも大きくなった

んだから、できることをしてみようよ。」

そして、保育園の先生が話してくださったことと、その時思ったこと

を兄に話してみた。

しばらく考え込んでいた兄が言った。

「うん、そうだね。お母さんは係長としても

頑張っているんだ。やってみるか。」

咲希と兄が台所に行こうとすると、二人の

話を黙って聞いていた父は、ベランダへ出て、

照れくさそうに洗濯物を取り入れ始めた。



| | | | | | | | | | |
|----|---|----|---------|-----|----------------|----|----|----|------------|
| No | ③ | 分類 | 2-(2)ーア | 資料名 | 心に残った「あのっこり笑顔」 | 学年 | 5年 | 領域 | 特別活動(学級活動) |
|----|---|----|---------|-----|----------------|----|----|----|------------|

1 ねらい

- 男女共同参画社会の形成を阻害する固定的な役割分担意識を見直し、男女が互いに自分のよさを発揮し、共に豊かな社会を築こうとする意欲や態度をもつ。

2 趣旨

- 実在する幼稚園教諭の姿を通して、性別による固定的な役割分担意識について考える。
- 固定的な職業観にとらわれることなく、個性や能力に応じて男女が対等なパートナーとして様々な分野に参画し、互いにその人権を尊重しつつ、利益も責任も分かち合っているような社会をめざそうとする態度を育てる。

3 配慮事項

- してみたい仕事はまだ決まっていない児童には、これからゆつくり考えればよいことを伝え、強制しない。
- 学級に性同一性障害等の児童がいる場合は、その状況や、本人や保護者の気持ちを把握し、連携をしながら指導する等の配慮が必要である。

4 展開例

| 学 習 内 容 | 指 導 上 の 留 意 点 |
|---|---|
| <p>1 自分の将来の夢やしてみたい仕事をカードに書き、伝え合う。(できれば裏面に理由も書く。)</p> <p>2 男子から出た仕事、女子から出た仕事を分けて考えてみる。</p> <p>男の人にしかできない仕事、女の人にしかできない仕事はありますか。</p> <p>3 資料を読み、二人の男の子が幼稚園の先生になった理由を考える。</p> <p>ようち園の先生を仕事に選んだのは、なぜでしょう。</p> <p>トライやる・ウイナーウでの体験がうれしかった。子のが笑顔が好きだから。 「かんぱって…」「ちよう戦したらいい…」とはげまされたから。</p> | <p>・カードは大きなものにし、黒板に掲示して話し合いに使えるようにする。</p> <p>・黒板に、分けて掲示する。職種が少ない場合は、他にもいろいろあることを提示する。</p> <p>・してみたい仕事の男女を入れ替えることにより、仕事の特徴を考えさせる。</p> <p>二人の男の子が幼稚園の先生の仕事のよさを知らなくて、自分もしてみたいと思つたことに気づかせたい。 本文の「二人の夢、してみたい仕事を聞いた家族や友だちは、二人にどう意見を述べたよ。」以下の□を空白にして意見を述べてもよい。応援が後押しになったことに気づかせたい。 「めずらしいね。」「男のくせに。」「女の仕事…」などの言葉に着目させ、男女共同参画社会の形成ことに気づかせる。</p> |
| <p>4 自分が仕事を決めるとき、大切にすることは何かを話し合う。</p> <p>自分の仕事を決めるとき、何を大切にすればよいでしょう。</p> <p>いろいろな人の生き方を知って、参考にする。 自分のよさをいかせるものを選ぶ。 しんどくてもかんぱれそうなものを選ぶ。 無理だと決めつけずに実現の方法を考える。</p> | <p>先輩からのメッセージに目を向けさせ、将来の職業は、個性や能力に応じて、自分がやりたいものを選択すべきであることを認める。 性別による誤った固定観念にとらわれず、いろいろな分野に挑戦していこうとする気持ちをもたせたい。</p> |

心に残った「あのにっこり笑顔」

今のみなさんの夢、してみたい仕事は何ですか。

小さいころ、こんな夢をもって
いた子どもたちがいました。

「昆虫博士。」
「仮面ライダーか、野球の選手。」
「もちろん、電車の運転手。」
「わたしは、花屋さんかな。」
「パパと同じ消防士。」
「やさしい、かん護師さん。」
「大工さんになって、大きな
家を建てるんだ。」



この中の二人の男の子は、大人になった今、ようち園の先生を

しています。

『ようち園の先生になろう。なりたい！』
と思ったのは、どうしてでしょうか。

「ぼくが中学二年生のトライ

やる・ウイークでようち園

に行ったとき、ようち園の

子どもたちが、『お兄ちゃ

ん。』ってたくさん寄って

きてくれてうれしかった。

とってもかわいかったし、

仕事も楽しかったので、ぼ

くもやってみようと思っ

た。

「小さいころから、子どもが大スキ。子ども会で小さな子のお世

話をよくしていた。お世話したときのあのニコッと笑ってくれ

る笑顔がずっと心に残っていて。」

二人の夢、してみたい仕事を聞いた家族や友だちは、二人にと

う言ったのでしよう。

「ようち園の先生になりたいんだってー。めずらしいね。」

「がんばって、先生になってね。」

「あなたがやってみなければ、ちよう戦したらいいと思うよ。」

二人の夢を聞いた人の中に、

「えー、男のくせに。ようち園の先生なんて女の仕事じゃないの。」

と言った人もいました。



このお兄さんたちは、自分の願いが
ない、ようち園で毎日楽しく過して
ます。

どろんこ遊びをしたり、歌ったりおど
ったり…

もちろんにっこり笑顔の子どもたちと
いっしょに。



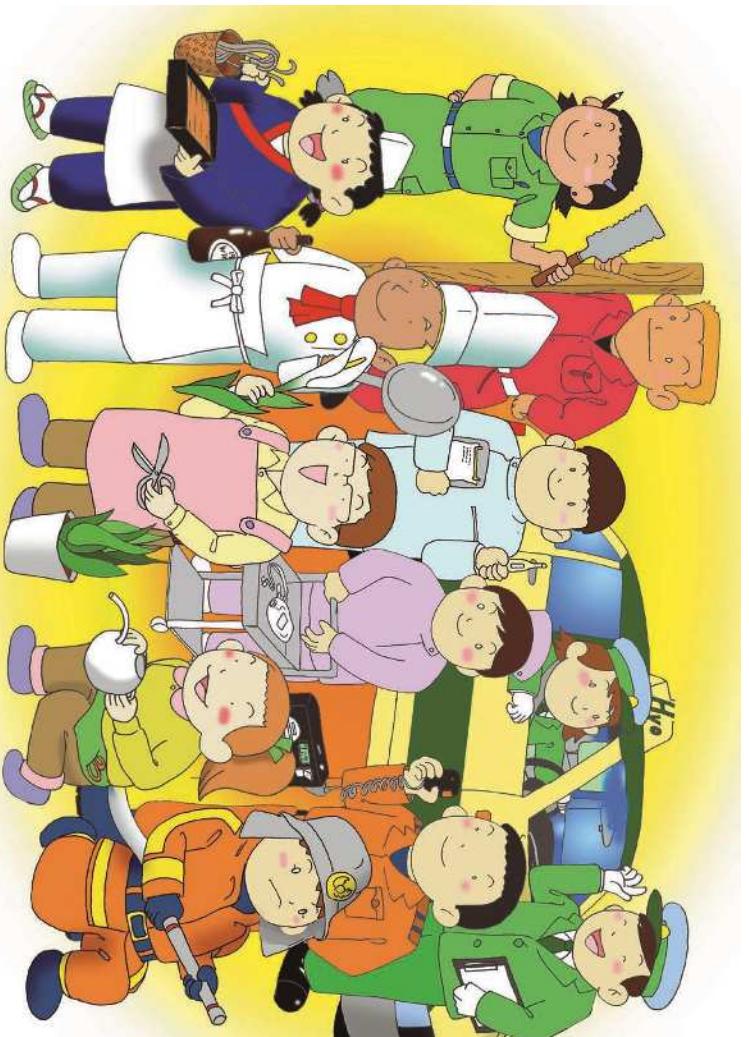
夢をかなえた先はいたちから、あなたたちへのメッセージです。

「おねを張って自分の夢をもとう。できない、無理と思つたら何
も始まらない。やってみよう。」

「今だからできる体験を大切にして、自分のやりたいことをめざ
して、前に進もう。」

「自分の身の回りにおけるできないことをたくさん見つけて、いっ
ぱい心を動かして夢をつかもう。」

みなさんは、夢を実現させるために何を大切にすればよいでしょうか。



平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| | | | | | |
|---|----------|---|-------|------|------|
| 局 | 教育委員会事務局 | 課 | 学校教育課 | 事業番号 | 2122 |
|---|----------|---|-------|------|------|

| | |
|--------------------|---|
| 事業概要 (PLAN) | 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し |
| 方針 | 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 |
| 施策の方向 | 2 学校教育における慣行の是正 |
| 事業番号/事業名 | 2122 女子生徒の理工系分野への進学支援を含む進路指導の充実 |
| 事業内容 | 男女が個人として、能力・適性・興味・関心に応じて、性別にとらわれずに主体的に進路選択ができるよう進路指導の充実を図る。また、女子生徒が自らの興味・関心によって理工系分野への進学を希望している場合、この生徒の希望を支援し、女性だからという理由で進路の変更を強要されることのないよう相談支援、学習支援等に努める。 |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | ・中学校では、市内全19校の1～3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、男女に関わらず生徒の思いを大切にされた進路指導に努める。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供する。 |
| 参考 | 関連する計画 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------------|--------|------|--------------------------|------|------|------|-------|--------------------------|--------|--|--------------------------|--|------|
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | | | | | | | | | | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標項目 | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標・実績 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>達成年度</td> <td>28年度</td> <td>26年度</td> <td></td> <td>25年度</td> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td>下回った</td> </tr> </table> | 目標値 | | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | | 25年度 | 実績の評価 | <input type="checkbox"/> | 達成している | | <input type="checkbox"/> | | 下回った |
| 目標値 | | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | | 25年度 | | | | | | | | |
| 実績の評価 | <input type="checkbox"/> | 達成している | | <input type="checkbox"/> | | 下回った | | | | | | | | |

| |
|---|
| 実施内容 (DO) |
| 26年度 |
| ・中学校では、市内全19校の1～3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にされた進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。 ・中学校、高等学校ともに、例えば、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に合わせた進路指導に努めた。 |

| |
|---|
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 |
| 教育委員会から学校現場に対して、次の2点についての通知を出すなど司令塔としての取組を検討されたい。 (独) 科学技術振興機構(文科省外郭団体)が実施する「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報提供を行うこと 成績や適性から理工系に向いていると思われる女子生徒に対しては、「女子中高生理系進路選択プログラム」の情報を積極的に提供するなど、理工系分野への進学支援となる進路指導を行うこと |
| 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について |
| 「女子中高生理系進路選択プログラム」に係る「平成26年度「女子中高生夏の学校2014～科学・技術・人との出会い～」の開催に関する連絡を、各中・高等学校に情報提供した。 各学校では、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に合わせた進路指導を行っている。 |

| |
|--|
| 前年 25年度 |
| ・中学校では、市内全19校の3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、男女に関わらず生徒の思いを大切にされた進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。 |

| |
|---|
| 今後の方向性 (ACTION) |
| ・中学校では、市内全19校の1～3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にされた進路指導に努める。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供する。 ・中学校、高等学校ともに、例えば、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に合わせた進路指導に努める。 |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局 教育委員会事務局 課 教育総合センター 事業番号 **2123**

| | | |
|-----------------------------------|--|------|
| 事業概要 (PLAN) | 2 社会の制度・慣行等の見直し | |
| 基本目標 | 1 学校等における男女共同参画の推進 | 重点方針 |
| 方針 | 2 学校教育における慣行の是正 | |
| 施策の方向 | 2 学校教育における慣行の是正 | |
| 事業番号/ 事業名 | 2123 男女共同参画の視点に立った情報教育の推進 | |
| 事業内容 | インターネットをはじめ、様々なメディアの情報を男女共同参画の視点から主体的に読み解き、活用する能力を育成する。 | |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | 教員を対象に研修を実施し、児童生徒が、自ら正しい情報モラルや、男女共同参画社会の実現に寄与する資質を身につけられるような研修を実施する。 | |
| 参考 | 関連する計画 | |

| |
|--|
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか |
| 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) |

| | | | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------|--------------------------|------|------|
| 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | |
| 目標項目 | | | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 |
| 実績の評価 | <input type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | |

| 実施内容 (DO) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------|---------------|------------------|---|--------|-------|-----|---------------|------------------|-------------|-------|-----|---------------|--|--------|-----|------|----------------|---|
| 情報モラル・セキュリティ研修 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>講師名</th> <th>研修名・研修対象</th> <th>講演テーマ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月17日</td> <td>64名</td> <td>大森 康充 東江 潤</td> <td>初任者研修 1年目教員対象</td> <td rowspan="2">情報モラルに関する研修</td> </tr> <tr> <td>6月24日</td> <td>64名</td> <td>大森 康充 東江 潤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月26日</td> <td>19名</td> <td>東江 潤</td> <td>専門研修 全教職員対象</td> <td>教育用コンピュータシステムの管理と運用 (モラルセキュリティに関する内容) 対象は全教職員</td> </tr> </tbody> </table> | 実施日 | 参加人数 | 講師名 | 研修名・研修対象 | 講演テーマ等 | 6月17日 | 64名 | 大森 康充 東江 潤 | 初任者研修 1年目教員対象 | 情報モラルに関する研修 | 6月24日 | 64名 | 大森 康充 東江 潤 | | 11月26日 | 19名 | 東江 潤 | 専門研修 全教職員対象 | 教育用コンピュータシステムの管理と運用 (モラルセキュリティに関する内容) 対象は全教職員 |
| 実施日 | 参加人数 | 講師名 | 研修名・研修対象 | 講演テーマ等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月17日 | 64名 | 大森 康充 東江 潤 | 初任者研修 1年目教員対象 | 情報モラルに関する研修 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月24日 | 64名 | 大森 康充 東江 潤 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月26日 | 19名 | 東江 潤 | 専門研修 全教職員対象 | 教育用コンピュータシステムの管理と運用 (モラルセキュリティに関する内容) 対象は全教職員 | | | | | | | | | | | | | | | |

| |
|-------------------------------------|
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 |
| 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について |

| | |
|------------|---|
| 前年 25年度 | 情報モラル・セキュリティ研修講座(平成25年7月26日) 演習 「取り組もう情報モラルの指導 高めよう情報セキュリティ」 講師 指導主事 大森 康充 特別臨時研修(平成26年1月26日) 講演 「スマートフォン(ライン等)を介したサイバー犯罪について」 講師 兵庫県警察本部生活案全部サイバー犯罪対策課 以上の研修を実施した。 |
|------------|---|

| |
|--|
| 今後の方向性 (ACTION) |
| 今後も引き続き、教員を対象に研修を実施し、児童生徒が、自ら正しい情報モラルや、男女共同参画社会の実現に寄与する資質を身につけられるような研修を実施する。 |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| 局 | | 教育委員会事務局 | 課 | | 学校教育課 | 事業番号 | | 2131 | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------|---|--------------------------|------|---|------|--|------|--|-----|------|------|------|------|--------------------------|--------|--|--------------------------|------|
| 事業概要 (PLAN) | | | | | 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本目標 | | 2 社会の制度・慣行等の見直し | | | 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針 | | 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策の方向 | | 3 地域や家庭との連携強化 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業番号/事業名 | | 2131 地域や家庭に対する啓発活動の充実 | | | <input type="checkbox"/> を入れてください | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | | 市の教育啓発誌などを利用して啓発活動を推進する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | | 人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」「人権通信」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参考 | 関連する計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 (DO) | | | | | 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | | | | | | | |
| 26年度 | | 人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前年25年度 | | 人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」「人権通信」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> </tr> </table> | | | | | 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 | <input type="checkbox"/> | 達成している | | <input type="checkbox"/> | 下回った |
| 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 達成している | | <input type="checkbox"/> | 下回った | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 「学校だより」「学年だより」「人権通信」等に掲載した啓発記事の件数や内容等、具体的に報告されたい。 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について 人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」や「学年だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行っているが、すべての「学校だより」「学年だより」について、記事の件数や内容等を把握するのは難しい。ただ、人権教育に関する啓発活動の充実については、機会を捉えて学校にお願いしており、例えば、別紙資料のように、「多様性の社会で個性を活かす」というような内容は、男女共生教育につながる一例である。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 今後の方向性 (ACTION) | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行う。引き続き、人権教育に関する啓発活動の充実については、機会を捉えて学校にお願いする。 | | | | | | | | | | | | | | |



学校通信

金楽寺

第 8 号

平成26年12月1日

尼崎市立金楽寺小学校

校長 福田 肇

—思いやりがあふれ、笑顔と活力がみなぎる金楽寺小学校—

教育目標「自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成」をめざして

- ・考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

今年もあと1ヶ月になりました!

今日から12月に入りました。1年の最後の月です。12月は、「師走(しわす)」とも言われています。年の暮れを迎え忙しくなってきます。11月10日(月)~14日(金)に5年生は丹波少年自然の家で自然学校を行ってきました。1. 自然に親しもう 2. 自分の責任を果たそう 3. 思いやりの心をもとめる3つの目標を一人ひとりが頭に入れ、集団行動やいろいろな活動も予定どおりこなすことができました。反省するところもありましたが、何よりも全員元気に帰って来れたことがよかったです。12月には、マラソン大会や長縄集会、校外児童会など全校生で行ういろいろな行事があります。寒さもだんだんと厳しくなっています。2学期の残りの日々、風邪をひいたりして体調をくずしたり、けがをしないように気をつけましょう。25日(木)は終業式です。26日(金)から1月6日(月)まで冬休みです。クリスマスやお正月があり、家族で田舎に帰ったり、旅行に行く人もいると思います。楽しみですね。規則正しい生活を送り、1月7日(火)の3学期始業式には元気に登校してください。



校内人権週間12月4日(木)~12月10日(水)

4日から人権週間が始まります。1年生や2年生の皆さんには少し難しいかもしれませんが、「人権」とは人としての権利です。私たちは、自分の意思でこの世界に生まれてきたわけではありません。しかし、生まれてきた以上、私たちはみんな必要とされているのです。なぜなら、同じ人間はだれひとりいないからです。それは一人ひとりの顔や性格がちがうことでわかると思います。皆さん一人ひとりに、他の人にはないよさがあります。そのよさをお互い見つけ合うことがとても大切です。皆さんの身の周りを見たとき、友だちの人権を傷つけていることはありませんか。また、自分の人権が傷つけられていると思うときはありませんか。「己の浴せざること、人に施すことなかれ」ということばがあります。自分がされていやなことは人にしてはいけないということです。友だちにしているいいこと、言っていないことを、自分で考えてほしいと思います。



マラソン大会に向け、朝のマラソン自分のペースで!

11月13日(木)から始まった朝のマラソンも12月3日(水)が最後となります。自分のペースで最後までがんばって走っています。見学している子もゆっくり運動場を歩いています。このように身体を鍛えると同時に、苦しいことを乗り越えていきながら精神力も鍛えていくのです。12月4日(木)には尼崎記念公園の周回コースでマラソン大会を実施いたします。子どもたちのがんばる姿を見に来ていただき、応援よろしく願います。

12月の行事予定

- 2日(火) 5年生社会見学
- 3日(水) 4年生学年活動
- 4日(木) ※マラソン大会 朝会(予備日)
人権週間(9日まで)
- 5日(金) ※朝会 マラソン大会(予備日)
- 8日(月) 見守り隊感謝の会
委員会 代表委員会
- 10日(水) たんぼ交流会(4年)
3年環境体験学習
- 11日(木) 長縄集会
- 12日(金) 長縄集会(予備日)
心の教育推進事業(4・5・6年5校時)
- 15日(月) スピーチ集会 クラブ活動
- 18日(木) 牛乳パック回収
- 22日(月) 給食終了 校外児童会(5校時)
- 25日(木) 終業式(3校時まで)
- 26日(金) 冬季休業日
(1月6日まで)

1月の主な予定

- 7日 始業式
(4校時まで)
- 9日 給食開始
- 14日~16日
書き初め展
- 15日 オープンスクール
ファミリー活動
心の教育推進事業
(保護者向け)
- 16日 避難訓練

12月の生活目標

学校を美しくしよう



~マラソン大会~

準備運動をしっかりと、自分のペースで走りきれるようがんばりましょう。早寝早起きの習慣をつけさせ、朝食を必ず取らせて下さい。見学の場合は、連絡帳を通して担任にお知らせ下さい。

※4日、5日のマラソン大会・朝会について

4日が雨天の場合、5日にマラソン大会が延期されます。その際には、5日に予定されている朝会が4日に行われます。

~意義深い冬休みを~

冬休みが近づいてきました。大掃除など整理整頓をきちんとし、新たな気分で新年を迎えられるよう、身の回りを整えましょう。そして新年をすがすがしい気持ちで迎え、3学期も元気に登校してください。



与え、貯金をし、心を豊かにしていこうと思いました。

〇私は読書が大好きなので、読まない人はもったいないなあ、と思います。心の（中略）本当の豊かさとは、その日の考え方がどれほど柔軟であるかだと考えます。本は柔軟さも育ててくれるものです。

正解が一つとは限らない問題 ～多様性の社会で個性を活かす～ (11月25日)

- (1年) 私はよく悩んだりしたら、悩みなんか無くても良いのにと思いがちですが、今日の話を聞いて悩みを乗り越えることに意味があるんだと思いました。大人になったら、きっと今よりも大変な問題にでることがあると思うので、今から大人になるための練習をしているんだと感じました。
- (2年) 「一人一人の個性があるから世の中は美しい、自分は自分のままでよい」という言葉は心に残りました。一色のみみじならきれいではないのと同じところがあるのが納得しました。だから、個性や考えはちがっていてもあたりまえだから気にせず自信をもてるようになりたいです。
- (3年) 自分の色を出すのも大事だけど、自分ばかりではなく他人も尊重すべきだと思います。なぜなら、他人の意見、色（個性）を否定してしまうとその人の色は誰かと全くとは言い切れないものの似たようになって目立たなくしてしまうからです。

思いやり、想像力で他者を大切に ～人権尊重を実行する力～ (12月8日)

- (1年) いつも日新中のろう下やトイシなどがキレイなのは、だれかが思いやりをもって行動しているからだと思います。教室にゴミがおちていたら捨てるとか、そういう思いやりの心が大切だと思う。もし今後、教室にゴミが落ちていたら、拾って捨てられるようになりたい。
- (2年) 〇人権を守るために何をすればよいか今までバツとしなかったが、今日の話で少し分かるようになって。トイシやるでは、子どもたちのための仕事だったので、その経験をしっかりと活かして行きたいと思う。〇トイシやる・ウイナーを通して、事業所の人たちが私たちを受け入れてくれるのも思いやりだと思います。思いやりに感謝したいです。
- (3年) ふだんから思いやりの気持ちをもって人に接することを考えて、行動しようと思った。自分がした思いやりのある行動でまわりに広がって、いつかみんなが思いやって人と接するようになれば、もっといい世の中になると思います。

校長からの宿題！ (終業式式辞の趣旨)

年が改まり、新年を迎える冬休みに「いのちを守り、磨く」という宿題を出します。

まず、生命を守ること。冬休み中に多くの危険が迫る。年末年始は多くの人が移動し、現金が動き、事故や犯罪が多い。危険を予測し、避ける行動をとり、無事に新年・三学期を迎えてください。

次に、自分の使命を考え、力をつけること。新たな年を迎える時間を利用して、自分の生き方・使命を考え、必要な力を付ける。勉学、家の大掃除、礼儀作法にかなったあいさつ、自分の命に関わる人たちとのふれあい、自分の非力や文明の限界などを認めて謙虚な気持ちで今後の生き方を考える、そして、志や目標を立てるなど、この時期でこそその行動がある。未来の自分を想像して、自分の命をどう使うか考えましょう。

1月の主な予定 3学期は1月7日（水）に始まりです！

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------|-----------|-------------|------------|---------------------------|---------------------|----|
| 5 冬季休業 | 6 冬季休業 | 7 始業式 | 8 課題テスト | 9 月曜時間割 | 10 | 11 |
| 12 成人の日 | 13 | 14 5校時まで | 15 | 16 防災訓練 | 17 | 18 |
| 19 全校朝礼 | 20 | 21 | 22 | 23 3年私立高出願 1年百人一首大会 | 24 参観授業 入学説明会 | 25 |
| 26 代休日 | 27 | 28 | 29 | 30 1年実力テスト 2年到達度調査 | 31 | |

2月の主な予定

10日（火） 1・2年ロードレース
23日（月） 1・2年学年末テスト
24日（火）～25日（水） 全学年学年末テスト

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

| | | | | | |
|--|--|--|--|---|------|
| 局 | 企画財政局 市民協働局 | 課 | 魅力発信・報道担当 協働・男女参画課 | 事業番号 | 2211 |
| 事業概要 (PLAN) | | 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 | | | | |
| 施策の方向 | 1 男女共同参画に関する広報啓発の充実 | | | | |
| 事業番号/ 事業名 | 2211 市報、市政TV、FM放送による広報、啓発 | | | | |
| 事業内容 | 市報あまがさきをはじめ、あらゆる広報媒体を活用し、男女共同参画に対する理解を深める啓発を行う。 | | | | |
| 26年度に向けた 方向性 (PLAN) | 従前通り継続していく。 | | | | |
| 参考 | 関連する計画 | | | | |
| 実施内容 (DO) | | 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | |
| 26年度 | ・市報掲載回数 19回 女性センター事業等を掲載。 ・FM放送回数22回 女性センター事業を案内。 | 目標項目 | | | |
| | | 目標・実績 | 目標値 | 達成年度 | 28年度 |
| | | 実績の評価 | | <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った | |
| 26年度 | | 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | |
| | | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | |
| 前年 | | 今後の方向性 (ACTION) | | | |
| ・市報掲載回数 21回 女性センター事業等を掲載。 ・FM放送回数20回 女性センター事業を案内。 | | 従前通り、継続していく。 | | | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

| | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|-------------------------------------|----------|--------------------------|----------|----------|----------------------|----------|----------------------|
| 局 | 市民協働局 | 課 | 協働・男女参画課 | 事業番号 | 2212 | | | | |
| 事業概要 (PLAN) | 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | | | | | | | | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 | | | | | | | | |
| 施策の方向 | 1 男女共同参画に関する広報啓発の充実 | | | | | | | | |
| 事業番号/ 事業名 | 2212 男女共同参画情報誌の発行・ホームページの充実 | | | | | | | | |
| 事業内容 | 情報誌「フェミナル」を作成・配布するとともに、ホームページを充実させることにより、女性センター事業や男女共同参画に関する施策の情報提供、法令等・制度の周知を行う。 | | | | | | | | |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | ・「フェミナル」については、紙情報の特性を活かし、特集の組み方などを工夫していく。 ・ソーシャルメディアの運用については引き続き試行していく | | | | | | | | |
| 参 考 | 関連する計画 | | | | | | | | |
| 実施内容 (DO) | 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | |
| 26 年度 | 目標項目 女性センターのホームページのアクセス回数 女性センターの多様な情報サービスの提供 | | | | | | | | |
| | 目標・実績 | 目標値 | 増加 増加 | 達成 年度 | 28 年度 | 26 年度 | 約16,550アクセス/月 5種類 | 25 年度 | 約16,507アクセス/月 6種類 |
| | 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | |
| | | 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | | | |
| | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | | | | | | |
| 前 年 25 年度 | 今後の方向性 (ACTION) | | | | | | | | |
| | ・広報誌「フェミナル」は特集の組み方などを工夫し、市民編集サポーターとともに特徴ある紙面づくりを続けていく。 ・ホームページは今後もさらに利用が増えることを考え、情報提供とともに閲覧しやすい環境を整えるよう管理運営を続ける。 | | | | | | | | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

| | |
|-------------------------------|--|
| 事業概要 (PLAN) | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 |
| 施策の方向 | 2 男女共同参画に関する学習活動の充実 |
| 事業番号/ 事業名 | 2221 男女共同参画セミナーの実施 |
| 事業内容 | 男女の固定的な役割分担意識を改め、男女共同参画社会づくりに資するセミナーを実施する。 |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | 幅広いテーマが考えられる男女共同参画であるが、「地域課題に応える」を念頭に、今後も展開していく。 |
| 参考 | 関連する計画 |
| 実施内容 (DO) | <p>〔トピエ〕</p> <p>「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ579人)</p> <p>ワークショップ:「ひとり親世帯の子どもの貧困率54.6%」「親の家を片づける」「フオトボイ又展、映画上映:「潮風の村から～ある女性医師の軌跡～」、トークショー「山上千恵子監督によるアフタートークショー」、平成26年度男女共同参画週間事業「流矩子が語る!トークライブ」社会における女性のエンパワーメント。(講師:流矩子 参加者数:104人)</p> <p>男女共同参画市民企画講座「女性弁護士による決断する前に 離婚かも?お悩み相談」(参加者28人)、</p> <p>「アトセラビー」による心の解放 秋色コレクショント「怒り」の伝え方。(参加者15人)を開催。</p> <p>全国女性会館協議会助成事業「図書実務担当者のためのスチップアップ研修」</p> <p>講師:福島聡、尼川川洋子、渡邊斉志、角本勢津子 受講生のべ112人) など</p> <p>〔神崎総合センター〕</p> <p>子育て自分育ち教室(参加者数:302人)</p> <p>(内容:保育所、幼稚園に行っていない未就学児とその親を対象に、子育てに関する講座と子育てに関する個別相談(託児あり)を実施。親同士のネットワーク作り、子育て不安の解消等に役立っている。)</p> <p>〔市民活動推進担当〕</p> <p>(地区会館自主事業)</p> <p>リバー・ズで簡単手作りお菓子教室を開催。(小田地区会館:計3回)</p> <p>親子運動教室・ベビーマッサージ体験会を開催。(武庫地区会館:計8回)</p> <p>リバーズで子ども・おむし講座を開催(園田地域振興センター:計1回)</p> <p>〔中央公民館(小田公民館実施)〕</p> <p>(市民企画講座 自分が動けば社会が変わる! 第1回目)女性が活躍の歴史～明治・大庄ロマン「母性」発見から婦人参政権へ～ 6/1(15人)</p> <p>(市民企画講座 自分が動けば社会が変わる! 第3回目)男女ともに活躍できる日本へ～成長戦略として女性活躍推進～ 7/3(13人)</p> <p>(市民大学第3回目)あふれるメディア情報を読み解く力～ネット時代のメディア・リテラシーを考える～ 7/16(71人)</p> <p>(地域・現代学講座 家族って何! 少子高齢化時代を生きる第1回目)ライヴスタイル化する家族～変わリゆ(家族のあり方～ 10/23(19人)</p> <p>(地域・現代学講座 家族って何! 少子高齢化時代を生きる第2回目)若者たちの未婚化と少子化 10/30(17人)</p> <p>(地域・現代学講座 家族って何! 少子高齢化時代を生きる第3回目)海外の家族状況との比較 ～大人の女がもてる社会～ 11/6(19人)</p> |
| 26年度 | |
| 前年 25年度 | <p>「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ105人)</p> <p>シンポジウム:講演「女性センターの今までとこれから」、講演「トピエとともに歩む」、鼎談「未来をつくる女性センター」</p> <p>平成25年度男女共同参画週間事業「女性の視点でエンディングを準備する」を開催。(参加者数:のべ98人)</p> <p>男女共同参画市民企画講座「大切にしよう!心とからだ～小さいときから始める性教育～」、「自分も相手も大切にする「怒り」の伝え方」を開催。</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| 評価 1 | (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | |
| 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | |
| | 女性に限定した事業あり | | | |

| | | | | |
|-------------|--------------------------|--------|--------------------------|------|
| 評価 2 | (CHECK) 数値目標 | | | |
| 目標項目 | | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 |
| 実績の評価 | <input type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った |

| | | | | |
|---|---------------------------------|--|--|--|
| 評価 3 | (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | |
| 事業所管課だけでなく、同趣旨のセミナーを実施していると思われる他の公共施設の所管課に対して、照会を行い、男女共同参画に資するセミナー開催の有無について調査されたい。なお、照会の際には、事務局(協働・男女参画課)から、所管課に対して「第2次男女共同参画計画」の目的、事業目的等についての説明を行い、男女共同参画に関する理解が進むようにされたい。 | | | | |

男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| <p>【協働・男女参画課】 照会を行うにあたり、男女共同参画に資する内容となっているものについては、報告を求めた。男女共同参画とは何なのか、改めて職員が考える機会となるよう、計画の趣旨も含めて資料(別紙)を送付するとともに、口頭においても、説明を行ったところ、男女共同参画を主目的にしていなくても、男女共同参画に資するセミナーの開催は可能であることへの理解が一步進んだと感じており、今後においても、丁寧な説明を行っていききたい。</p> | | | | |
|--|--|--|--|--|

| | |
|---------------|-----------------|
| 今後の方向性 | (ACTION) |
|---------------|-----------------|

【トピエ】

- ・様々な分野で男女共同参画について考えていただけるよう、参加対象者を定めて事業を進めていきたい。
- ・市民の学びや実践の支援となる事業の実施を検討する。

【人権課】

- ・今後も、講演会等を通じて、男女協働参画づくりなど、「地域課題に伝える」を念頭に入れ、セミナー実施等の啓発活動に取り組んでいく。
- 【市民活動推進担当】
- ・市内6地区会館において、「地域課題に伝える」を念頭においた男女共同参画づくりの自主事業の実施を推奨していく。

【中央公民館】

今後も引き続き地域課題・社会問題をテーマとした講座の中で、展開してまいります。

各施設で実施しているセミナー・講座について

各施設で実施されているセミナーや講座については、女性スタートピエの事業のように、男女共同参画を主目的としていなくても、実は男女共同参画の視点を含んだ内容となっているものは多いと思われます。

今回、回答を要する事業

社会の制度・慣行等の見直し 男女共同参画に関する学習活動の充実

| NO | 事業名 | 事業内容 |
|------|---------------|--|
| 2221 | 男女共同参画セミナーの実施 | 女性の固定的な役割分担意識を改め、男女共同参画社会づくりに資するセミナーを実施する。 |

男性の意識変革と生活自立

| NO | 事業名 | 事業内容 |
|------|-----------|--|
| 2231 | 男性セミナーの実施 | 固定的役割分担にとらわれない男性の生き方を考え、男女共同参画意識を普及するための講座を開催する。 |

ワーク・ライフ・バランスの確立

家庭における男女共同参画を推進するための啓発活動の充実

| NO | 事業名 | 事業内容 |
|------|------------------------|---|
| 4111 | 家事・子育て・介護に関する男性対象講座の実施 | 男性が家庭と仕事を両立し、生き生きと活動していくことができるよう、男性対象の家事・子育て・介護に関する講座を実施する。 |
| 4112 | 男性のための子育て講座の実施 | 男性の育児参加を目的とした講座を実施する。 |

家庭教育に関する学習機会の提供

| NO | 事業名 | 事業内容 |
|------|-------------|--|
| 4122 | 子育て家庭に対する啓発 | 保護者が子どもに対して男女共同参画の視点に立った家庭教育ができるよう、子育て家庭に対する講座を実施する。 |

そのため、次のようなセミナーや講座は、「実施状況調査票」の「実施内容」にご記載くださいますよう、お願いいたします。

性別に関わらず、家族としての役割を果たしながら、仕事や学習、地域活動等ができることに繋がる内容ではないですか？
たとえば…

男性の家庭・地域等への参画促進に役立つものとして、
子育てのコツ、子どもとの接し方、介護のしかた、要介護者との接し方、調理スキルの獲得、生涯を見据えたキャリアプラン、ライフプラン、ワーク・ライフ・バランス、ネットワークづくり、婚活など
女性の社会参画等の促進に役立つものとして、
ママのネットワークづくり、コミュニケーションアップ、心と体の健康、生涯を見据えたキャリアプラン、ライフプラン、婚活、再就職、起業セミナー、ワーク・ライフ・バランスなど

また、今後企画に際して、そういった視点を少しでも意識していただき、男女共同参画社会の推進に、引き続き積極的な取り組みをお願いいたします。（協働・男女参画課）

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| | | | | | |
|---|-------|---|----------|------|------|
| 局 | 市民協働局 | 課 | 協働・男女参画課 | 事業番号 | 2222 |
|---|-------|---|----------|------|------|

| | | |
|-----------------------------------|---|------|
| 事業概要 (PLAN) | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 | 重点方針 |
| 施策の方向 | 2 男女共同参画に関する学習活動の充実 | |
| 事業番号/ 事業名 | 2222 託児ボランティア制度の推進 | |
| 事業内容 | 女性センターが実施する事業に子育て中の女性の参加を促進するため、 ボランティア による託児を実施する。 | |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | 保育ボランティアに対しての保育スキルアップ研修を実施し(必修)、男女共同参画の視点をもった一時保育が行えるようにつとめる。 | |
| 参 考 | 関連する計画 | |

| | |
|--|---|
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | |
| 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) |

| 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|
| 目標項目 | | | | | | | | | | | |
| 目標・実績 | <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 | | | | | |
| 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 実績の評価 | <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った | | | | | | | | | | |

| 実施内容 (DO) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|----|----|-----|----|----|---------|-----|----|---|-----|---------|----|----|---|----|-------|-----|----|---|-----|
| 26年度 | (1)一時保育利用状況 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1~2歳(人)</td> <td>234</td> <td>32</td> <td>3</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>3~6歳(人)</td> <td>46</td> <td>39</td> <td>6</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>280</td> <td>71</td> <td>9</td> <td>360</td> </tr> </table> (2)プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。(1人1回2時間500円の有料)。2014(平成26)年度は、3人の利用があった。 ・連絡シートを毎回作成し、保護者への連絡を密にしている ・年に1回、保育サポーターを集めて内部研修を行い、男女共同参画の理念や、トレビエが目指すことについて講義を行なっている。登録更新のための必須研修としている。 | | 午前 | 午後 | 夜間 | 合計 | 1~2歳(人) | 234 | 32 | 3 | 269 | 3~6歳(人) | 46 | 39 | 6 | 91 | 合計(人) | 280 | 71 | 9 | 360 |
| | 午前 | 午後 | 夜間 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1~2歳(人) | 234 | 32 | 3 | 269 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3~6歳(人) | 46 | 39 | 6 | 91 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(人) | 280 | 71 | 9 | 360 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------------------------------|--|
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | |
| 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | |

| 前年 25年度 | (1)一時保育利用状況 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1~2歳(人)</td> <td>152</td> <td>223</td> <td>0</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td>3~6歳(人)</td> <td>87</td> <td>87</td> <td>18</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>239</td> <td>310</td> <td>18</td> <td>567</td> </tr> </table> (2)プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。(1人1回2時間500円の有料)。2013(平成25)年度は、4人の利用があった。 ・連絡シートを毎回作成し、保護者との連携を密にしている ・年に1回、託児ボランティアを集めて内部研修を行い、男女共同参画の理念や、トレビエが目指すことについて講義を行なっている。ボランティア登録更新のための必須研修としている。 | | 午前 | 午後 | 夜間 | 合計 | 1~2歳(人) | 152 | 223 | 0 | 375 | 3~6歳(人) | 87 | 87 | 18 | 192 | 合計(人) | 239 | 310 | 18 | 567 |
|------------|--|-----|----|-----|----|----|---------|-----|-----|---|-----|---------|----|----|----|-----|-------|-----|-----|----|-----|
| | 午前 | 午後 | 夜間 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1~2歳(人) | 152 | 223 | 0 | 375 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3~6歳(人) | 87 | 87 | 18 | 192 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計(人) | 239 | 310 | 18 | 567 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---|--|
| 今後の方向性 (ACTION) | |
| ・保育サポーターに対しての内部研修・防火訓練(必修)を行い、男女共同参画の視点をもった一時保育が行えるようにつとめる。 ・男女共同参画の視点ある保育を周知するため、一時保育事業に携わる保育サポーターのスキルアップ講座を実施し人材の確保に努める。 | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

局 教育委員会事務局 課 中央公民館 事業番号 **2223**

| 事業概要 (PLAN) | | 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---|---|---|------|------|------|------|------|-----|--|--|--|--|--|--|
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | | | | | | | | | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策の方向 | 2 男女共同参画に関する学習活動の充実 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業番号/事業名 | 2223 講座時の一時保育の実施 | を入れてください | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 必要のある講座についてボランティアによる保育の実施に努める。 | 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | | | | | | |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | 講座を受講された方々やボランティアとして参加していただいた方々が、「保育」の分野に限らず地域に根付いた活動を継続していただけるように、公民館講座をはじめとした事業(講座)に関する情報提供に努める。 | 目標項目 | | | | | | | | | | | | | |
| 参考 | 関連する計画 | 目標・実績 | <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>25年度</th> <th>5講座</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 | 5講座 | | | | | | |
| 目標値 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 25年度 | 5講座 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 実績の評価 | <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った | | | | | | | | | | | | |
| 実施内容 (DO) | | 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | | | | | | | | | |
| 26年度 | 【武庫公民館実施】 ・(市民企画講座)ママのための聴き方講座 2/16(母17人・子8人) 2/23(母7人・子10人) 3/23(母16人・子9人) 3/30(母14人・子11人) 【小田公民館実施】 ・(子どもふれあいスクール事業)布遊具作り連続講座 6/9(母2人・子2人) 6/16(母2人・子2人) 6/23(母4人・子4人) 6/30(母4人・子4人) | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | | | | | | | | | | | |
| 前年25年度 | ・ママのイキイキ応援プログラム 【実施日及び参加者数】11/22(母41人・子20人) 12/13(母32人・子15人) 1/24(母36人・子13人) ・人をつなぐ地域を結ぶ、エンパワメントのためのワークショップ 【実施日及び参加者数】10/8(大人30人・子3人) 10/10(大人29人・子2人) ・ひなまつりを彩る料理教室 【実施日及び参加者数】3/2(大人35人・子5人) ・フェルトで作る音の出るおもちゃ 【実施日及び参加者数】3/16(大人8人・子1人) ・指で描く癒しのアート~パステル和(NAGOMI)アート~ 【実施日及び参加者数】2/15(大人36人・子2人) | 今後の方向性 (ACTION) 公民館では、子育て中の方が1人で悩まず子育ての不安を解消できるように、自分磨きやりフレッシュすることを目的とした気軽に参加できる講座を実施するとともに、地域が子育てに参加できる講座の実施を心がけていく。また、地域に根付いた活動を継続していただけるように情報提供に努める。 | | | | | | | | | | | | | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

| | |
|-------------------------------|--|
| 事業概要 (PLAN) | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 |
| 施策の方向 | 3 男性の意識変革と生活自立 |
| 事業番号/ 事業名 | 2231 男性セミナーの実施 |
| 事業内容 | 固定的役割分担にとらわれない男性の生き方を考え、男女共同参画意識を普及するための講座を開催する。 |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | 男性の家事育児参加、過重労働、非正規雇用の増加、コミュニケーションのつまずきや職場環境の不調などのメンタルヘルス上の課題をテーマに、講座を開催する |
| 参考 | 関連する計画 |
| 実施内容 (DO) | |
| 26年度 | <p>【トピエ】</p> <p>男性セミナー「男性のためのストレスコントロールセミナー」(講師:吉岡俊介 受講者数17人) 働く母親を応援する男性・子どもの自立支援事業「パパといっしょにクッキング&マラソックス」(受講者数7組22人) 【人権課】</p> <p>人権啓発推進員研修会 12回/年 ・8/7(木)「子どもの貧困と教育」(講師:人権啓発推進企画員 中川恵代子 受講者10人) 研修会を通して、男性のこどもの家事及び育児の参加とうについても学習した。</p> <p>人権啓発推進員会議 6回/年 ・男女の家事や育児について会議にて協議を行った。 神崎総合センター定例講座にて子育て自分中心教室を実施。(参加者:302人) ・講座内にて、男性の家事・育児についても学習を行った。</p> <p>【市民活動推進担当】</p> <p>「パパ＆ママ簡単手作りお菓子教室」を開催。(小田地区会館:計3回) 「親子運動教室・ベビーマッサージ体験会」を開催。(武庫地区会館:計8回) 「パパ&ママとこどもの虫・むし講座」を開催(園田地区会館:計1回) 「男の土曜塾」(園田地区会館:計1回)</p> <p>講師:吉田 清彦氏 50歳以上の男性を対象に第2の人生を充実して、楽しく、豊かに生きるために必要なノウハウを提供し、男性が家庭や地域で“居場所”を見つけるための講座を開催。 【中央公民館(武庫公民館実施)】 (地域・現代学講座)いくつになっても始められる「男の家庭料理入門講座」 1/17(18人) 1/31(19人) 2/14(20人) 2/28(18人) 3/14(20人) 3/28(19人)</p> |
| 前年 25 年度 | <p>「いじい入門講座～地域のおいちゃんカアツツ!」開催 (講師:和田恵明 受講者数:11人) 「パパの家事」きほんのきいい～家族がよるこぶかジダン入門～」開催 (講師:堀田寛晶 和田恵明 参加者数:18人)</p> |

| | | | | | | | |
|---|----------|---|----------|----------|-----|------|------|
| 局 | 市民協働局 | 課 | 協働・男女参画課 | 市民活動推進担当 | 人権課 | 事業番号 | 2231 |
| | 教育委員会事務局 | | 中央公民館 | | | | |

| | |
|---|--|
| 評価1 | (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか |
| 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れられているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) |
| | をを入れてください |

| 評価2 | (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|--------|--------------------------|------|------|------|-----|------|-----|-------|-------------------------------------|--------|--------------------------|------|----|--|--|
| 目標項目 | 男性自身の意識改革のための男性セミナー実施数 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標・実績 | <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>年1講座以上</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>26年度</th> <th>7講座</th> <th>25年度</th> <th>2講座</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 目標値 | 年1講座以上 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 7講座 | 25年度 | 2講座 | 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | |
| 目標値 | 年1講座以上 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 7講座 | 25年度 | 2講座 | | | | | | | | | | |
| 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----|---|
| 評価3 | (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 |
| | 事業所管課だけでなく、同趣旨のセミナーを実施していると思われる他の公共施設の所管課に対して、照会を行い、男女共同参画に資するセミナー開催の有無について調査されたい。なお、照会の際には、事務局(協働・男女参画課)から、所管課に対して「第2次男女共同参画計画」の目的、事業目的等についての説明を行い、男女共同参画に関する理解が進むようにされたい。 |
| | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について |

【協働・男女参画課】
照会を行うにあたり、男女共同参画に資する内容となっているものについては、報告を求めた。男女共同参画とは何なのか、改めて職員が考える機会となるよう、計画の趣旨も含めて資料(別紙)を送付するとともに、口頭においても、説明を行ったところ、男女共同参画を主目的にしていなくても、男女共同参画に資するセミナーの開催は可能であることへの理解が一步進んだと感じており、今後においても、丁寧な説明を行っていききたい。
(人権課)
人権啓発推進員研修会・会議及び神崎総合センターの定例講座にて取組を行った。

| | |
|--------|----------|
| 今後の方向性 | (ACTION) |
|--------|----------|

【トピエ】
男性のための事業の重要性は認識しており、今後も重要課題の一つとして取り組んでいく
家事参加、労働問題など男性が参加しやすい事業を検討していく
(人権課)
講演会等を通じて、固定的役割分担にとらわれない男性の生き方など、男女共同参画意識を普及するための啓発活動に取り組む。
(市民活動推進担当)
市内6地区会館において、男女共同参画の意識づくりの自主事業の実施を推奨していく。
(中央公民館)
今後も引き続き地域課題・社会問題をテーマとした講座の中で、展開してまいります。

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

| | | | | | |
|---|-------|---|----------|------|------|
| 局 | 市民協働局 | 課 | 協働・男女参画課 | 事業番号 | 2241 |
|---|-------|---|----------|------|------|

| | | |
|-----------------------------------|---|------|
| 事業概要 (PLAN) | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 | 重点方針 |
| 施策の方向 | 4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供 | |
| 事業番号/ 事業名 | 2241 男女共同参画に関する図書・資料の収集・提供 | |
| 事業内容 | 市民の男女共同参画への理解を深めるため、女性センターの情報資料室において図書等の閲覧・貸出を行う。 | |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | 市立の女性センターとして、尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。情報資料室がより多くの人に利用されるように、機能の強化や整備、他機関との連携を行っていく。 25年度に始めた「子どもを預けて読書でリラックスタイム」は好評なので、今後も実施していく。 | |
| 参考 | 関連する計画 | |

| | | |
|---|---|--|
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | |
| 実施できた 項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてく ださい | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | |

| | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|--------|--------------------------|------|------|-----------------|------|-----------------|
| 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | |
| 目標項目 | 女性センター情報資料室の貸出冊数及び入室者数 | | | | | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | いずれも増加 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 2,820冊 / 5,427人 | 25年度 | 2,546冊 / 4,756人 |
| 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | |

実施内容 (DO)

| 26年度 | 男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。 ・蔵書数:8,207冊 (平成26年度増加冊数 311冊) ・利用状況 図書資料の貸出冊数 2,820冊 入室者数 5,427人(新規登録者数 114人) ブックフェアの開催 6回 センター主催事業講座受講者に向けた情報資料室案内を発行している。25部発行学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。 「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施 | <table border="1"> <caption>貸出冊数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>25</td><td>2,546</td></tr> <tr><td>26</td><td>2,820</td></tr> </tbody> </table> | 年度 | 貸出冊数 | 25 | 2,546 | 26 | 2,820 |
|------|--|---|----|------|----|-------|----|-------|
| 年度 | 貸出冊数 | | | | | | | |
| 25 | 2,546 | | | | | | | |
| 26 | 2,820 | | | | | | | |

評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容

男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

| 前年 25年度 | 男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。 ・蔵書数:7,896冊 (平成25年度増加冊数 318冊) ・利用状況 図書資料の貸出冊数 2,546冊 入室者数4,756人(新規登録者数 149人) ブックフェアの開催 4回 センター主催事業講座受講者に向けた情報資料室案内を発行している。25部発行学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。 「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施 | <table border="1"> <caption>貸出冊数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>貸出冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24</td><td>2,230</td></tr> <tr><td>25</td><td>2,546</td></tr> </tbody> </table> | 年度 | 貸出冊数 | 24 | 2,230 | 25 | 2,546 |
|------------|---|---|----|------|----|-------|----|-------|
| 年度 | 貸出冊数 | | | | | | | |
| 24 | 2,230 | | | | | | | |
| 25 | 2,546 | | | | | | | |

| | | |
|---|--|--|
| 今後の方向性 (ACTION) | | |
| 尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。そのための方法を検討する。情報資料室がより多くの人に利用されるように、利用者の意見を聞きながら運営を行う。 | | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| | | | | | |
|---|----------|---|-------|------|------|
| 局 | 教育委員会事務局 | 課 | 中央図書館 | 事業番号 | 2242 |
|---|----------|---|-------|------|------|

| | | |
|-----------------------------------|---|------|
| 事業概要 (PLAN) | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 | 重点方針 |
| 施策の方向 | 4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供 | |
| 事業番号/ 事業名 | 2242 図書館での情報提供 | |
| 事業内容 | 図書館及び公民館図書室等の配本所において、男女の人権の尊重など男女共同参画に関する図書を提供する。 | |
| 26年度に 向けた 方向性 (PLAN) | 今後も男女共同参画に関する新しい資料の収集やレファレンスに努める。 また、男女共同参画の関連月間などに資料(図書)別置展示を積極的に行うことで図書利用促進と啓発を図ります。 | |
| 参 考 | 関連する計画 | |

| | | | | | | |
|---|---|--------|----------|--------------------------|------|------|
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | |
| 実施できた 項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてく ださい | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 | | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | | |
| 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | |
| 目標項目 | | | | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | | 達成 年度 | 28 年度 | 26年度 | 25年度 |
| 実績の評価 | <input type="checkbox"/> | 達成している | | <input type="checkbox"/> | 下回った | |

| | | |
|------------------|--|--|
| 実施内容 (DO) | | |
| 26 年度 | <p><2館共通の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画白書等の図書の提供(平成26年度男女共同参画計画審議会の指摘を受け、図書の購入に努めている)。 ・協働・男女参画課等から配布されるパンフ、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 <p><中央図書館の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん月間、また、DV防止月間(11月)などの啓発期間に関連資料を展示し、啓発と貸出促進を図った。 テーマ:「女性に対する暴力をなくす運動」 展示期間:平成26年11月1日~11月26日 テーマ:「人権について考えてみませんか?」 展示期間:平成26年12月7日~12月25日 テーマ:「女性問題について」 展示期間:平成27年3月27日~4月16日 展示場所:2階入口エントランス ・一般配架に女性の本棚(女性の問題)と題し、常時閲覧、貸出が出来る状態にしている。 <p><北図書館の取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー関連展示として、関連本の展示、関連施設や資料の紹介をし、啓発と貸出促進を図った。 テーマ:「女たるもの~自分らしく、あなたらしく~」 展示期間:平成27年2月27日~3月25日 展示場所:北図書館 1階ミニ展示コーナー 展示内容:関連本の展示、女性センターテレビエの紹介、関連資料の展示。 | |

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | | |
| レファレンスを行う職員に対して、男女共同参画に関する研修を受講させるなど、レファレンスサービスの向上に努められたい。また、北図書館(指定管理施設)の取組についても合わせて報告されたい。 | | | | | | |
| 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | | | | |
| 男女共同参画について理解を深め多様な視点をもってレファレンスや展示が行えるように研修を行っている。 ・北図書館の取組については平成26年度実施内容を参照。 | | | | | | |

| | | |
|----------------|---|--|
| 前年 25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画白書等の図書の提供(男女共同参画に関する資料点数 154冊) ・協働・男女参画課等から配布されるパンフ、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 ・昨年に引き続き図書館入口エントランスにおいて、10月8日~11月6日まで、乳がん月間、また、DV防止月間(11月)など、関連資料を展示し、啓発と貸出促進を図った。 ・一般配架に女性の本棚(女性の問題)と題し、常時閲覧、貸出が出来る状態にしている。 | |
|----------------|---|--|

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|
| 今後の方向性 (ACTION) | | | | | | |
| 今後も男女共同参画に関する新しい資料の収集やレファレンスに努める。 また、男女共同参画の関連月間などに資料(図書)の別置展示を積極的に行うことで図書利用促進と啓発を図る。 | | | | | | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|---|----------|------|---|--|--------|--------------------------|------|------|------|------|------|
| 局 | 市民協働局 | 課 | 協働・男女参画課 | 事業番号 | 2251(3232) | | | | | | | | |
| 事業概要 (PLAN) | | | | | 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | | | | | | | | |
| 基本目標 | 2 社会の制度・慣行等の見直し | | | | 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 | | | | | | | |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 | | | | | | | |
| 施策の方向 | 5 女性団体・グループの支援とネットワークの推進 | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) | | | | | | | |
| 事業番号/事業名 | 2251(3232) 男女共同参画を推進する団体・グループの支援と連携の推進 | | | | 評価2 (CHECK) 数値目標 | | | | | | | | |
| 事業内容 | 男女共同参画の推進と女性の自立、社会参加等を支援するため、多くの市民が参加できるフォーラムを開催し、団体・自主グループの育成と相互の連携を図る。また、登録団体制度を推進する。 | | | | 目標項目 | 女性センターに登録している男女共同参画を推進する団体数 | | | | | | | |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | 男女共同参画を推進するためには、地域で活動する団体・グループとの連携、協働が重要であるとの視点から、団体・グループとの連携を強めていく。自主グループ、活動登録団体などを通じた活動支援も進める。 | | | | 目標・実績 | 目標値 | 増加 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 11団体 | 25年度 | 10団体 |
| 参考 | 関連する計画 | | | | 実績の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 達成している | <input type="checkbox"/> | 下回った | 備考 | | | |
| 実施内容 (DO) | | | | | 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | | | | | | | | |
| 26年度 | [団体・グループへの支援] (1)自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体、5団体) 支援内容:保育は1年間、1回500円で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 市内外の団体と協働し、講座、セミナー、映画会などを開催した。 (2)活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体、11団体) 支援内容:部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 [連携の推進] あまがさき女性フェスティバル 尼崎市女性団体協議会が中心となり、29団体が実行委員会を構成。 あまがさき女性フォーラム 活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。 市民企画講座の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。 | | | | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 前年 25年度 | [団体・グループへの支援] (1)自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体、5団体) 支援内容:保育は1年間、1回500円で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 市内外の団体と協働し、講座、セミナー、映画会などを開催した。 (2)活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体、10団体) 支援内容:部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 [連携の推進] あまがさき女性フェスティバル 尼崎市女性団体協議会が中心となり、35団体が実行委員会を構成。 あまがさき女性フォーラム 活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。 市民企画講座、ギャラリー公募展示の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。 | | | | 今後の方向性 (ACTION) | | | | | | | | |
| | | | | | 地域への男女共同参画を浸透するために、団体・グループとの連携、協働を進める。また女性センターだけではできない事業も、様々な団体と協働することで可能となる。現在実施している事業の継続のほか、今後も団体への協力ができるよう柔軟に対応していく。様々な団体・グループとの協働の在り方についても随時見直ししながら支援を行う。 | | | | | | | | |

平成26年度【第2次尼崎市男女共同参画計画】**実施状況調査票**

| | | | | | |
|---|-------|---|----------|------|------|
| 局 | 市民協働局 | 課 | 協働・男女参画課 | 事業番号 | 2261 |
|---|-------|---|----------|------|------|

| | |
|---------------------------|---|
| 事業概要 (PLAN) | 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し |
| 方針 | 2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 |
| 施策の方向 | 6 男女共同参画に関する人権侵害への対応 |
| 事業番号/事業名 | 2261 申出処理制度の運営 |
| 事業内容 | 男女共同参画社会づくりに関する施策や人権侵害行為などの申出について、申出処理委員の調査の結果を踏まえて、市が適切に対応する申出処理制度を運営する。 |
| 26年度に向けた方向性 (PLAN) | 近隣都市でも申出件数が少ない状態であり、本市でも件数が増加するとは考えにくい、男女共同参画関係施策を推進していくうえでのチェック機能を有する機関として、市民にとって申出の機会が確保されていることに意義があるとする。 |
| 参考 | 関連する計画 |

| | |
|--|--|
| 評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) |
| 評価2 (CHECK) 数値目標 | 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください 目標項目 目標・実績 目標値 達成年度 28年度 26年度 25年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った |

| 実施内容 (DO) | 申出なし 【参考】近隣自治体の男女共同参画(苦情)申出件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>兵庫県</th> <th>神戸市</th> <th>大阪府</th> <th>大阪市</th> <th>尼崎市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>0(0)</td> <td>2(2)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>0(0)</td> <td>2(0)</td> <td>0(0)</td> <td>1(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> </tbody> </table> ()内は、調査対象件数 | | 兵庫県 | 神戸市 | 大阪府 | 大阪市 | 尼崎市 | 23年度 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 24年度 | 0(0) | 2(2) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 25年度 | 0(0) | 2(0) | 0(0) | 1(0) | 0(0) |
|------------------|---|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 兵庫県 | 神戸市 | 大阪府 | 大阪市 | 尼崎市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23年度 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24年度 | 0(0) | 2(2) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25年度 | 0(0) | 2(0) | 0(0) | 1(0) | 0(0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による指摘内容 | 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について |
|-------------------------------------|---------------------------|

| 前年 25年度 | 申出なし 【参考】近隣自治体の男女共同参画(苦情)申出件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>兵庫県</th> <th>神戸市</th> <th>大阪府</th> <th>大阪市</th> <th>尼崎市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>1(0)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>0(0)</td> <td>2(2)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> </tbody> </table> ()内は、調査対象件数 申出処理パンフレットを作成(平成24年度)(約500部) 配布先:本庁(市民相談)、JR尼崎サービスセンター、阪急塚口サービスセンター、情報政策課、各地域振興センター、テレビ | | 兵庫県 | 神戸市 | 大阪府 | 大阪市 | 尼崎市 | 22年度 | 1(0) | 1(1) | 1(1) | 0(0) | 0(0) | 23年度 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 24年度 | 0(0) | 2(2) | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
|----------------|---|------|------|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 兵庫県 | 神戸市 | 大阪府 | 大阪市 | 尼崎市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22年度 | 1(0) | 1(1) | 1(1) | 0(0) | 0(0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23年度 | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24年度 | 0(0) | 2(2) | 0(0) | 0(0) | 0(0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|------------------------|---|
| 今後の方向性 (ACTION) | 近隣都市でも申出件数が少ない状態であり、本市でも件数が増加するとは考えにくい、男女共同参画関係施策を推進していくうえでのチェック機能を有する機関として、市民にとって申出の機会が確保されていることに意義があるとする。 |
|------------------------|---|